

だいせんの偉人先人たち

いけ だ まご いち
池 田 孫 一

【分類】 産業

【生没年】 1853年 ~ 1922年

(嘉永6年) (大正11年)



高梨薬師神社境内にある記念碑

高梨の池田家の一族に生まれた孫一は、郡役所や会社経営の仕事に満足せずに辞め、小さいころからの夢だった金銀の採掘に力をそそぎ、夢を実現させた人である。当時の県内は院内、小坂、尾去沢、阿仁など大きな鉱山が盛んであったが、これらの経営はすべて県外の人であり、中央の資本であった。親譲りの田畑を売り払い全財産を資金として、明治29年43歳の時、東成瀬村の田子内鉱区の採掘権を手に入れることができた。山中のため、生活はもとより資材運搬の不便など多くの困難を乗り越え、立派な最新式の設備と優れた技術者により、良質な鉱石を掘り出すことに成功した。鉱山の景気に刺激され、新しく吉野鉱山や花岡鉱山、油田の開発と秋田県の鉱山業は大いに発展した。高梨薬師神社境内に記念碑がある。

出典 『先人の歩み中』1979、大曲市仙北郡校長会／編
社会科副読本わたしたちの大仙市